

関西本線活性化利用促進三重県会議 結果

- 1 日時 令和6年9月30日（月）16：00～16：40
- 2 場所 三重県庁プレゼンテーションルーム
- 3 出席者 会長：三重県一見知事
委員：亀山市櫻井市長、伊賀市岡本市長、
JR西日本水口常務理事近畿統括本部副本部長阪奈支社長
- 4 議題 （1）関西本線の現状と取組について
（2）今後の取組について
- 5 結果
 - （1）関西本線の現状と取組について（公開）
 - （JR西日本からの報告）
 - ・直近の利用状況、実証運行の運転区間・時期等の方向性について説明。
 - （三重県からの報告）
 - ・令和5年度に実施した潜在需要調査や通勤モニター事業について説明するとともに、令和6年度に実施予定の実証運行や沿線活性化の事業等について説明。
 - （亀山市からの報告）
 - ・イベント事業や駅舎を活用した地域の活性化等について説明
 - （伊賀市からの報告）
 - ・二次交通の充実に向けたバスの実証実験、通学定期券の購入補助事業等について説明。
 - （出席者からの意見）
 - ・域外から人を呼んでくるためには、広域の連携が重要。
 - ・鉄道は利用者の利便性がなにより重要。どのような方策が効果的かよく検証し、再生していく必要がある。
 - ・沿線の活性化に向け、地域内の日常利用の確保と地域外からの取り込みを両輪で取り組むことが重要だが、鉄道事業者単体では不可能。関係者がしっかりと連携する必要がある。
 - ・来年は大阪・関西万博が開催されること等もあり、大阪、京都、奈良といった地域から誘客を進めていきたい。
 - ・関西から伊賀市に来ている人が亀山市に、名古屋から亀山に来ている人が伊賀市に訪れてもらえるような取組が重要であり、周遊観光施策等をさらに進めていく必要がある。
- （2）今後の取組について（非公開）

以下、3つの事項を合意事項として確認しました。

 - ①大都市と沿線地域を結ぶ列車について令和7年2月に名古屋－伊賀上野間、2日程度の運行で詳細検討が進められていることを確認。
なお、運行の可否および詳細が決まり次第、年内を目指して知事会見で公表することとし、県、沿線地域、鉄道事業者が緊密に連携しながら、PRや機運醸成に取り組むなど実証運行を盛り上げていくことで合意。

- ②潜在需要調査において関西方面から沿線への移動需要が一定確認されたことや、大阪・関西万博の開催、インバウンド拡大といった好機が到来していることを踏まえ、「西からの誘客・利用促進」をテーマとして検討を進めていくことで合意。
- ③関西本線沿線の活性化に向けた多角的アプローチについて、関係者が他地域の事例や国の制度等を研究し、定期的に議論することで合意。